

ミスミグループ本社 2013年3月期 連結業績

2期連続で過去最高の売上高・営業利益を更新 国際市場におけるミスミ事業モデルの浸透すすむ

株式会社ミスミグループ本社は本日、2013年3月期（2012年4月1日～2013年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

【決算ベース】

(百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減率
売上高	130,212	134,844	+3.6%
営業利益	16,646	16,809	+1.0%
純利益	9,414	9,880	+5.0%
1株当たり純利益	105.14円	110.28円	

<2013年3月期の連結業績ハイライト>

1. 世界経済成長伸び悩みのなか、2期連続で過去最高の売上・営業利益を更新

- 2013年3月期の売上高は1,348億円、前期比3.6%の増収となり、2期連続で過去最高を更新しました。
- 米国経済の回復や年度末に向けての円高修正など一部に明るい兆しはあったものの、政府債務問題の長期化に伴う欧州経済の低迷、中国をはじめとする新興国の成長率鈍化など、世界的に生産活動が伸び悩む情勢が継続いたしました。
- こうした環境下、国際市場においてミスミ事業モデルの浸透を積極的にすすめた結果、顧客数は過去最高を更新。売上高も海外全地域において過去最高を達成するなど、海外をけん引役に引き続き増収となりました。
- 営業利益は168億円、前期比1.0%の増益となり、売上高同様に過去最高を更新しました。国際展開の加速に向け、人員・組織増強、中国におけるFA部品生産拠点の設立、米国金型部品メーカー2社の買収など、積極的に成長戦略投資を実行しました。
- これら成長戦略投資に伴う先行負担増を売上高の増加およびコスト改善努力により吸収し、前回予想営業利益165億円を上回り過去最高益を更新しました。
- 純利益は、子会社の厚生年金基金脱退に伴う9.8億円の特別損失の発生などがあったものの、主に海外現地法人の黒字化に伴う税負担率改善もあり、前期比5.0%増益の98億円となりました。前回予想純利益87億円を上回り、5期ぶりに過去最高益を更新しました。

2. 自動化学業は引き続き堅調、金型部品事業は米国金型部品メーカー買収効果もあり大幅増収

- 2013年3月期のセグメント別売上高は、自動化学業842億円（前期比+4.4%）、金型部品事業370億円（同+33.7%）、エレクトロニクス事業123億円（同△0.2%）、その他事業67億円（同+5.2%）となりました。
- 金型部品事業では、自動車向け需要が堅調なほか、2012年11月に買収したDayton Progress CorporationおよびAnchor Lamina America, Inc.が加わったため、前期比で大幅増収となりました。

3. 海外売上高比率は 33.6%（前年同期比+6.1ポイント）と大幅上昇

- 2013年3月期の海外売上高は、452億円（前期比+26.4%、現地通貨ベース+20.9%）、海外売上高比率は33.6%（同+6.1ポイント）となり、いずれも過去最高を更新しました。
- 国際市場におけるミスミ事業モデルの着実な浸透に加え、米国金型部品メーカーを買収したことなどにより、海外売上高比率は当初の目標であった30%を超える水準まで一気に上昇しました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高（百万円）		前年同期比	
	2012年3月期	2013年3月期	増減率	現地通貨ベース
合計	130,212	134,844	+3.6%（※）	+2.0%
日本	94,388	89,557	△5.1%	—
海外	35,824	45,286	+26.4%	+20.9%
アジア	14,229	16,813	+18.2%	+13.1%
中国	12,537	15,400	+22.8%	+14.3%
北米・南米	5,360	8,449	+57.6%	+51.8%
欧州	3,696	4,623	+25.1%	+27.9%

※ 昨年度業績から2012年5月に売却したプロミクロスの業績を控除して比較した場合、売上高は前期比6.3%の増収となります。

- 国際競争で勝つためのミスミモデル革新を行い、グローバル展開を加速してまいります。

4. 配当性向 25%基準を継続、前期比 4.25 円の増配

- 当社は、経営環境や業績動向に加え、安定的な経営基盤の確立に必要な内部留保水準、財務体質、資本効率などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めています。
- 配当に関しましては、2012年3月期下期より配当性向の基準を従来の20%から25%に引き上げ、株主の皆さまへの利益還元を高めるよう方針を変更いたしました。2013年3月期につきましても、配当性向25%の基準を維持いたします。
- 2013年3月期の業績実績では、連結売上高・営業利益はともに2期連続で過去最高を更新するとともに、当期純利益も前回予想を上回り5期ぶりに過去最高を更新しました。
- その結果、一株当たり期末配当金は13円05銭を予定しておりましたが、当期純利益が前回予想を上回ったため、前期比3円20銭増の16円20銭とさせていただきます。これにより、年間配当金は中間配当金11円25銭と合わせ1株当たり27円45銭、前期比4円25銭の増配となる見込みです。

《年間配当金》	第2四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
当期実績	11.25	25.0%	16.20	25.0%	27.45	25.0%
前回予想	—	—	13.05	—	24.30	—
前期実績	10.20	19.2%	13.00	25.0%	23.20	22.1%

5. 2014年3月期連結業績は、売上高・利益ともに過去最高更新の見通し

- 2014年3月期の業績見通しは、売上高、利益ともに過去最高を更新することを見込んでいます。
- 世界経済の先行き不透明感が残るなか、海外内製比率および現地調達率を引き上げ、コストおよび納期競争力を抜本強化し、国際市場における競争優位性を確立してまいります。

2014年3月期の連結業績予想（2013年4月1日～2014年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり純利益	1株当たり年間配当
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	円
業績予想	160,000	17,500	17,500	10,300	113.98	28.50
前年比	+18.7%	+4.1%	+3.6%	+4.2%	+3.70円	+1.05円

〔業績予想に関する留意事項〕

この資料に掲載されている2014年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2013年3月期の連結業績の詳細は別添の決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 経営総務室 広報・IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372 mail : cc@misumi.co.jp</p>
